

2 2016年度C&C若手優秀論文賞

III 賞の概要

本財団の「国際会議論文発表者助成」により海外で発表された論文の内、極めて示唆的かつ独創的で、著者の将来性をうかがわせるに足る論文を、毎年概ね3件以内を選定して賞金20万円を贈呈する。

III 2016年度受賞者

審査対象論文:

2015年度前期分、2015年度後期分ならびに2016年度前期分で、2015年の9月1日から2016年の8月末日までに発表報告書が到着したもの。

凡例 · 氏名 · 応募時所属(国籍) · 発表論文名 · 國際会議名 · 開催期間, 開催地



久保 勇貴
Kubo Yuki
筑波大学／システム情報工学研究科／コンピュータサイエンス専攻／田中研究室（インタラクティブループログラミング研究室）／学部4年
B2B-Swipe: Swipe Gesture for Rectangular Smartwatches from a Bezel to a Bezel
The ACM Conference on Human Factors in Computing Systems
5/7 - 5/12, 2016 San Jose, USA



青山 拓弥
Aoyama Takuya
大阪大学／大学院基礎工学研究科／乾口研究室／博士前期課程1年
A Solution Procedure based on Lagrangian Relaxation for Supply Chain Planning Problem with CSR Investment
The IEEE International Conference on Industrial Engineering and Engineering Management
12/6 - 12/9, 2015 Singapore, Singapore



池田 卓矢
Ikeda Takuya
京都大学／大学院情報学研究科／複雑系科学専攻／知能化システム分野研究室／博士前期課程2年
Maximum hands-off control without normality assumption
The 2016 American Control Conference
7/6 - 7/8, 2016 Boston, USA